

プロジェクト進捗管理シート

方針1 豊かさが実感できる暮らしの実現

6 誇りある暮らし実現プロジェクト

～景観・自然・文化に囲まれた「誇り」ある暮らしの実現～

総括マネージャー

企画振興部長

目 標

美しい景観や自然、文化を守り、育て、活かすことにより、豊かなライフスタイルを充実させ、信州人としての誇りを持って暮らせる地域の形成をめざします。

総 合 分 析

「景観・自然・文化に囲まれた『誇り』ある暮らしの実現」をめざし、5つのアクションによりプロジェクトを推進しました。

達成目標4項目のうち、2項目は「順調」、2項目は「努力を要する」となっています。

「行政サポートによる移住者数」は、情報発信や相談機能を強化した結果、移住希望地として高い評価を受け続けているとともに移住者が順調に増加しています。

「都市農村交流人口」についても、農林業体験を活用した学習旅行の誘致等に取り組んだ結果、目安値を上回る結果となりました。

一方、「自分の暮らしている地域に誇りを感じる人の割合」は、「努力を要する」となりましたが、若年層で評価が上がっています。

また、「文化芸術活動に参加した人の割合」についても、「努力を要する」となりましたが、「文化芸術活動」の分野で増加がみられるなど細部について県民の参加度合いに違いが見られます。

これらのことから、誇りある暮らしの実現に向けて、順調に進んでいる分野がある一方、さらに重点的に取り組むべき分野もあると考えられます。

～プロジェクト推進に向けての課題と今後の方向性～

本プロジェクトにおいては、住民が誇りと自信を持つことができる地域づくりを民間企業やNPO等と協働して進めることや大都市圏などからの移住支援・交流を活発に行っていくことが引き続き重要な課題です。

これらの課題に対応するため、熱意ある集落の活動支援や地域づくりリーダーの確保・育成、信州の強みである豊かな自然環境の保全、伝統文化及び芸能の継承支援、文化芸術の鑑賞や発表の機会提供等を進めるほか、移住・交流に関しては、信州での子育てに憧れる女性など、ターゲットを明確にしたアプローチを行います。



ふるさとに逢える
楽園信州
心が遊む・信州に住む

(ふるさと信州風景百選)

達成目標の進捗状況

※進捗区分 ○順調:目安値以上 ○概ね順調:80%以上100%未満の進捗
 ○努力を要する:80%未満の進捗 ○実績値なし:今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値)

指標名	年度	単位	基準値 (H23)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
行政サポートによる移住者数	目安値	人		600	700	800	900	1,000	
	実績値		456	510	763				
	進捗区分			努力を要する	順調				
	【関連データ】 移住したい都道府県ランキング								
			H23	H24	H25	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> H17~H25 9年連続1位 </div> 出典: 田舎暮らしの本(宝島社)調べ			
	1位	長野県	長野県	長野県					
2位	千葉県	静岡県	静岡県						
3位	静岡県	千葉県	千葉県						
進捗状況の分析	三大都市圏で開催するセミナー等、田舎暮らし「楽園信州」推進協議会の取組や市町村の受入体制が充実してきた結果、移住者が順調に増加しています。また、移住希望地ランキングにおいても上位を維持しています。								
【目標設定理由】 現状の数値の2倍以上を目標に設定	今後の取組	(首都圏の窓口機能強化) ・ふるさと回帰支援センターでの移住相談 ・専門事業者による転職・就業相談の充実等 (ターゲットを絞った移住相談セミナーの開催) ・信州の自然を活かした子育て環境に憧れる女性 ・起業を計画する人材等							
【関連アクション】 アクション2									
指標名	年度	単位	基準値 (H22)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
都市農村交流人口	目安値	人		560,000	578,000	580,000	590,000	600,000	
	実績値		546,544	608,073	599,351				
	進捗区分			順調	順調				
	進捗状況の分析	グリーン・ツーリズムの推進や都市農村交流施設の整備等に対する支援、農林業体験を活用した学習旅行の誘致等により順調に進んでいます。							
【目標設定理由】 過去の増加傾向をもとに設定	今後の取組	・県内各地で行われているグリーン・ツーリズム情報を集約 ・集約した情報をWebサイト(おいしい信州ふ〜どネット)に掲載し、信州の魅力を全国へ発信							
【関連アクション】 アクション2									
指標名	年度	単位	基準値 (H21)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
自分の暮らしている地域に誇りを感じる人の割合	目安値	%		83.9	83.9	83.9	83.9	83.9	
	実績値		83.9	84.6	79.9				
	進捗区分			順調	努力を要する				
	進捗状況の分析	地域おこし協力隊等の若年層による各地での地域活動により、20代~30代で評価が上がった一方、60代~70代の評価が下がり、全体として4.8ポイント減少したため、「努力を要する」という結果になりました。							
【目標設定理由】 現状の水準を維持又は上回ることを目標に設定	今後の取組	・若い地域づくりリーダーの育成 ・美しい景観、自然環境の保全創造 ・文化振興施策の推進							
【関連アクション】 アクション1、2、3、4、5									
指標名	年度	単位	基準値 (H21)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
文化芸術活動に参加した人の割合	目安値	%		64.0	65.5	67.0	68.5	70.0	
	実績値		62.5	59.9	62.4				
	進捗区分			努力を要する	努力を要する				
	進捗状況の分析	参加者は全体的に増加していますが、美術分野や音楽分野への参加者が減少しており、「努力を要する」という結果となりました。							
【目標設定理由】 現状を上回る数値を目標に設定	今後の取組	・「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」や若手芸術家への支援の拡充 ・県民文化祭等の実施 ・文化施設の整備による鑑賞環境の改善							
【関連アクション】 アクション5									

**アクション
1**

(農山村の活性化支援)

伝統文化の継承や農山村ならではのライフスタイルの提案、地域に活力を与える多彩な人材の誘致など、市町村と住民が一緒になった「信州の宝」である美しい農山村の活性化を支援します。

【アクションの進捗状況】

「信州の宝」である美しい農山村を守り、活性化させていくため、新たに県内4地区をモデル地区として選定し、市町村と住民が一体となって行う地域（集落）の存続に向けたビジョンの策定及びビジョンの具体化に係る取組を支援しました。

ビジョンの策定等に当たっては、モデル地区を管轄する地方事務所において、関係課（環境、農政、林務、商工観光等）の職員で組織される「現地支援チーム」を設置し、一元的かつ総合的な支援を行いました。

主な成果

●集落の“再熱”に向けた取組を総合的に支援

「信州の宝」である美しい農山村を守るため、市町村と住民が一体となって行う取組を各部署が連携し、総合的に支援

集落 “再熱”、実施モデル地区支援事業採択地区数

H26年度：目標 8地区 ⇒ 実績 8地区

(取組成果)

○地元産品の産業化

- ・地元野菜等を使用した加工商品の研究開発及び販売

○遊休荒廃地の活用

- ・遊休荒廃地における特産品開発のための試験栽培を実施

○移住定住の促進

- ・地区内の空き家調査、空き家マップの作成
- ・空き家を改修し、移住・交流の拠点となる「体験ハウス」を設置



大学生のペンション仕事体験



地元産品の産業化
(清内路かぼちゃを使用した
かぼちゃバター)

**アクション
2**

(地域づくり人材の確保・育成)

「人の力」でふるさとを守るため、移住・交流を推進するとともに、地域づくりに取り組む人材の確保やリーダーの育成を推進します。

【アクションの進捗状況】

移住・交流を推進するため、移住希望者の多い三大都市圏において相談やセミナーを実施したほか、都市農村交流に関する情報発信を行う団体及び都市農村交流を目的とした学習旅行の誘致等を行う団体への支援を行いました。

特に、移住・交流の推進に当たっては、銀座NAGANOを活用した創業や信州型自然保育など長野県の特徴を活かしたセミナーの開催、ハローワークと連携した職業紹介など、子育て世代や若者層への情報発信により、移住者の増加に取り組みました。

また、地域づくりに取り組む人材の確保やリーダーを育成するため、フィールドワークを通じて実践的に学ぶ「地域に飛び出せ！信州元気づくり実践塾」を開催したほか、地域おこし協力隊員の活動ステージに応じた研修等を実施し、隊員の定住・定着促進を図りました。

主な成果

●地域づくりリーダーの育成を推進

地域づくりリーダーを育成するため、フィールドワークを通じて課題解決の手法を実践的に学ぶ「地域に飛び出せ！信州元気づくり実践塾」を開催

塾生による地域課題の解決に向けた事業の立案件数
H26年度:目標 3件以上 ⇒ 実績 8件



フィールドワーク

●ターゲットを明確にした移住交流施策を推進

～子育て世代や若者層への情報発信を充実～

- ・銀座NAGANOにおいて創業セミナーを開催
- ・信州型自然保育など長野県の特徴を活かしたセミナーの開催
- ・ハローワークと連携した職業紹介など、子育て世代や若者層への情報発信を充実
- ・楽園信州ホームページへのイベントなど掲載情報の充実、フェイスブックの活用による情報発信の強化

移住者、Iターン就職者
H26年度:目標 700人 ⇒ 実績 763人

○H26年9月から39市町村転入窓口で移住者アンケートを実施
※H27年度からは全市町村で実施
相談件数 H26年度:目標 2,800件 ⇒ 実績 4,382件



銀座NAGANOでの
U・Iターン転職セミナー

●農山村活性化に向けた都市と農村の交流促進

- ・都市農村交流施設等の整備を支援
- ・県内の都市農村交流に関する情報発信を行う団体及び学習旅行の誘致を行う団体を支援

都市農村交流人口
H26年度:目標 578,000人 ⇒ 実績 599,351人



秋の収穫体験

●地域おこし協力隊の活用を促進

- ・地域おこし協力隊の活用を促進するため、市町村担当者向け説明会を実施
- ・協力隊員の活動やネットワークづくりを支援するため、活動ステージに応じた「初任者研修」や「スキルアップ研修」を実施
- ・県内の協力隊員と市町村職員参加による「地域おこし協力隊交流会」を開催

地域おこし協力隊員数
H29年度:目標 90人 ⇒ H26年度:実績 135人
(H27年3月31日現在の隊員数)
※北海道に次ぎ、全国で2番目に多い隊員数



地域おこし協力隊交流会

アクション
3

(美しい景観の維持創造)
豊かな自然や農山村の営みなどにより形成されている美しい景観の価値を維持・創造する取組を進めます。

【アクションの進捗状況】

信州の農村景観の保全・育成を図るため、美しい信州の農村風景を選定した「ふるさと信州風景百選」の発刊、案内看板の設置補助など美しい農村風景を展望できるビューポイント（視点場）整備の促進、風景の魅力を伝える風景の「語り部」の育成等を実施しました。

また、景観条例や景観計画の策定に係る情報提供・助言等の実施により、市町村の景観行政団体への移行促進を図りました。

主な成果

● **ふるさと信州風景百選を選定・発刊**

県内外から募集した1千件近くの写真の中から、信州の美しい農村風景103箇所を選定（H26年7月）発刊（H27年1月）

応募件数 953件
冊子発行部数 無償版2,000部（県内小中学校、図書館等に配布）
有償版5,000部（当初3,000部、増刷2,000部）



千代のよこね田んぼ
(ふるさと信州風景百選)

● **ビューポイント（視点場）の整備を促進**

美しい農村風景を展望できるビューポイント（視点場）の整備促進を図るため、案内看板の設置や駐車場の設置などの整備を行う市町村等に対し補助

整備件数 H29年度：目標 延べ50件 ⇒ H25～26年度：累計（実績）延べ 18件

● **風景の「語り部」の育成**

ふるさと風景の成り立ちや歴史などの魅力を伝える「語り部」を育成する研修会等を実施

事業参加者数 H26年度：目標 85人 ⇒ 実績 104人

● **市町村の景観行政団体への移行を支援**

市町村と住民が協働して、景観の保全や地域特性を生かした景観の創出を進めるため、市町村の景観行政団体への移行を支援

景観行政団体市町村数
H26年度：目標 17市町村 ⇒ 実績 18市町村

アクション
4

(身近な自然環境の保全創造)
多くの人々が豊かな自然とふれあうことができる身近な自然環境を
保全・創造します。

【アクションの進捗状況】

「人と生き物が共存する諏訪湖」を目指して市町、団体、地域住民による諏訪湖環境改善会議と協働して水草除去等の環境改善の取組を行うとともに、湖底の貧酸素対策の調査、検討を行うなど諏訪湖の水質浄化と生態系の保全に努めました。

荒廃が進んでいる里山については、森林づくり県民税を活用して地域が一体となって行う里山の集約化や間伐を進めることで里山の森林整備を集中的に実施しました。

また、山岳環境の保全と適正利用を目的に、民間からの寄付金を活用して市町村や山小屋関係者が実施する登山道等の整備への支援を行うとともに、山岳関係者による長野県山岳環境連絡会を開催しました。

主な成果

●**諏訪湖の浄化** (第6期諏訪湖水質保全計画(H24~28年度)に基づく取組)

○**大量発生したヒシの除去**

- ・水草刈取船によるヒシの除去を実施
- ・諏訪湖環境改善行動会議との協働
ヒシの除去活動、水草等の学習会 など

○**貧酸素の拡大要因やヒシ種子の除去効果を調査**

- ・沖合のヒシ帯で発生した貧酸素塊が沿岸域まで影響していることを確認
- ・ヒシ種子除去した場所は、ヒシ抑制効果が持続したことを確認

ヒシ除去量 H26年度：目標 540t/年 ⇒ 実績 638t/年
 全窒素削減量 H26年度：目標 1.7t/年 ⇒ 実績 2.0t/年
 全リン削減量 H26年度：目標 0.19t/年 ⇒ 実績 0.22t/年



諏訪湖環境改善行動会議
によるヒシの除去

●**信州の里山の森林づくりを推進**

小規模・分散的で手入れの遅れた里山の森林整備を進めるための集約化や間伐の促進

間伐前



間伐後



里山の集約化 H26年度：目標 2,000ha/年 ⇒ 実績 2,048ha/年
 間伐実施面積 H26年度：目標 3,000ha/年 ⇒ 実績 2,113ha/年

●民間との協働により山岳環境を保全

- ・山小屋事業者等が行う管理者が不明確な登山道等の維持管理への支援
- ・「長野県山岳環境連絡会」で山岳環境の保全と適正利用のあり方を検討
行政機関、山岳関係者、有識者による長野県山岳環境連絡会において、登山者レベルに応じた整備のあり方や、山域ぐるみの協働管理体制を検討

施設等整備か所数

H26年度:目標 26か所 ⇒ 実績 19か所



登山道の整備

アクション 5

(個性際立つ文化芸術の振興)

本県に数多く存在する個性際立つ文化芸術・文化財の継承と振興を進めます。

【アクションの進捗状況】

県内外の多くの方に優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、サイトウ・キネン・フェスティバルの開催を支援したほか、若手芸術家と観光ホテル等とのコーディネートに取り組み、20組の芸術家に発表の場を創出しました。

また、文化財の安定的・継続的な保護・継承を進めるため、保護すべき文化財の指定等を進めるとともに、所有者が行う文化財の修理・防災に関する取組等を支援しました。

主な成果

●サイトウ・キネン・フェスティバル松本の共催

小澤征爾氏とサイトウ・キネン・オーケストラを主体とする音楽家による世界最高水準の音楽鑑賞の機会を県民に提供

フェスティバル参加者数

H26年度:目標 90,000人 ⇒ 実績 54,274人

※例年約40,000人が参加する吹奏楽パレードの中止が影響



オーケストラ・コンサート

(c)小島 竜生

●文化財の保存修理や防災に関する取組を支援

国・県指定等文化財の適切な保存・活用を図るとともに、持続的に後世に継承するため、所有者等が行う文化財の修理・防災等に要する費用の一部を助成

年度末文化財指定等件数

H26年度:目標 1,210件 ⇒ 実績 1,254件

文化財修理等補助件数

H26年度:目標 50件 ⇒ 実績 62件



国宝土偶「仮面の女神」
(茅野市提供)

●県内の国指定伝統的工芸品等についてPR

伝統的工芸品産地の振興のため、全国の都府県により伝統的工芸品月間を開催される展示・販売・実演・製作体験を行う催事の経費の一部を負担

展示会等に参加した産地

H26年度:目標 3産地 ⇒ 実績 3産地